

回線数変更設定

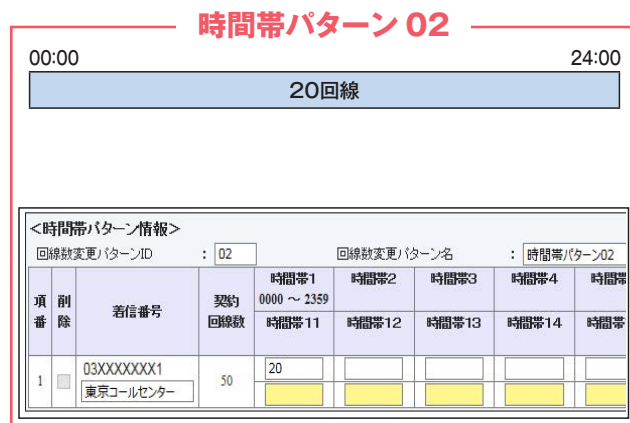
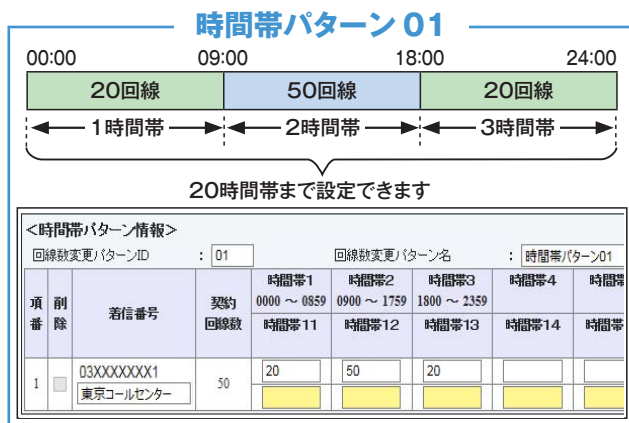
回線数の設定は、「2.回線数変更設定」と「3.リアルタイム回線数設定」の2種類があります。

2.回線数変更設定	曜日や時間帯などでスケジュールを組み、回線数(同時接続可能数)を変更できます。
3.リアルタイム回線数設定	リアルタイムに回線数(同時接続可能数)を変更できます。P56を参照してください。

回線数変更設定は、「時間帯パターン」と「スケジュール」の2つを組み合わせで設定します。

時間帯パターン

1日のスケジュールを、1分単位で20時間帯まで設定できます。



！で注意 必ずお読みください。

- 1日の全て(24時間)の時間帯を設定してください。詳細はP42「時間帯パターンに設定されていない時間帯がある場合の動作について」を参照してください。
- サービス番号に契約している全ての着信番号を設定してください。詳細はP43「時間帯パターンに設定されていない着信番号がある場合の動作について」を参照してください。

スケジュール

<曜日・祝日スケジュール>または<カレンダースケジュール>ごとに時間帯パターンを設定できます。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
時間帯パターン02	時間帯パターン01	時間帯パターン01	時間帯パターン01	時間帯パターン01	時間帯パターン01	時間帯パターン02

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール> ※回線数スケジュールにてカレンダースケジュールを設定する場合は、ご契約回線番号すべてを設定してください。 保存

祝日 03 日曜 02 月曜 01 火曜 01 水曜 01 木曜 01 金曜 01 土曜 02

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2017年 1月

2016年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2017年 1月

<時間帯設定> (yyyy/mm/dd)~ (yyyy/mm/dd) (回線数変更パターンID) 保存

上表のように時間帯パターンを設定する場合、<曜日スケジュール>を設定します。

スケジュール設定の可能なメニューとスケジュールの優先順位については、P92を参照してください。



ご注意ください。必ずお読みください。

スケジュールを組み合わせる場合

曜日スケジュール、祝日スケジュール、カレンダースケジュールが重複している場合は、1.カレンダースケジュール、2.祝日スケジュール、3.曜日スケジュールの順番で設定が優先されます。

<祝日の設定について>

祝日を設定すると、全ての祝日に反映されます。ただし、日曜日が祝日の場合、振替休日が祝日となり、日曜日は曜日スケジュールまたはカレンダースケジュールに設定されている時間帯パターンが動作します。

例) 下記のようにスケジュール設定した場合

- ・1月1日は曜日スケジュールの日曜日に設定している時間帯パターン「02」が動作
- ・1月2日は祝日スケジュールに設定している時間帯パターン「03」が動作
- ・1月9日はカレンダースケジュールに設定している時間帯パターン「02」が動作

祝日
スケジュール

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール> ※回線数スケジュールにてカレンダースケジュールを設定する場合は、ご契約回線番号すべてを設定してください。 保存

祝日 03 日曜 02 月曜 01 火曜 01 水曜 01 木曜 01 金曜 01 土曜 02

<カレンダースケジュール> ※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2017年 1月

2016年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2017年 1月

<時間帯設定> (yyyy/mm/dd)~ (yyyy/mm/dd) (回線数変更パターンID) 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

順番	パターンID	パターン名	パターン変更	番番号追加
1	01	時間帯パターン01	パターン変更	番番号追加
2	02	時間帯パターン02	パターン変更	番番号追加
3	03	時間帯パターン03	パターン変更	番番号追加

**ご注意ください。必ずお読みください。****時間帯パターンに設定されていない時間帯がある場合の動作について****〈「3.リアルタイム回線数設定」がない場合〉**

時間帯パターンに設定されていない時間帯は、ご契約時の同時接続可能数が機能します。

	同時接続可能数
ご契約時の設定	20回線
「2.回線数変更設定」 時間帯パターン (09:00~18:00)	15回線

00:00			24:00
20回線			
00:00	09:00	18:00	24:00
設定なし	15回線	設定なし	

**実際の
同時接続可能数は**

00:00	09:00	18:00	24:00
20回線	15回線	20回線	

〈「3.リアルタイム回線数設定」がある場合〉

時間帯パターンに設定されていない時間帯は、「3.リアルタイム回線数設定」の設定が機能します。

	同時接続可能数
「3.リアルタイム回線数設定」	18回線
「2.回線数変更設定」 時間帯パターン (09:00~18:00)	15回線

00:00			24:00
18回線			
00:00	09:00	18:00	24:00
設定なし	15回線	設定なし	

**実際の
同時接続可能数は**

00:00	09:00	18:00	24:00
18回線	15回線	18回線	

「2.回線数変更設定」と「3.リアルタイム回線数設定」を同時に設定した場合、同時接続可能数の少ない方が機能します。詳細はP45を参照してください。

時間帯パターンには、1日の全て(24時間)の時間帯を設定してください。

時間帯パターンに設定されていない着信番号がある場合の動作について

曜日スケジュール、祝日スケジュール、カレンダースケジュールが重複している場合は、1.カレンダースケジュール、2.祝日スケジュール、3.曜日スケジュールの順番で設定が優先されます。ただし、カレンダースケジュールの時間帯パターンに設定されていない着信番号は、祝日スケジュールで機能します。祝日スケジュールの時間帯パターンにも設定されていない着信番号は、曜日スケジュールで機能します。

例) 2016年5月5日(木曜日)〈こどもの日〉を下記のように設定していた場合

<カレンダースケジュール>

2016年5月5日に「時間帯パターン01」を設定

<祝日スケジュール>

「時間帯パターン02」を設定

<曜日スケジュール>

木曜日に「時間帯パターン03」を設定

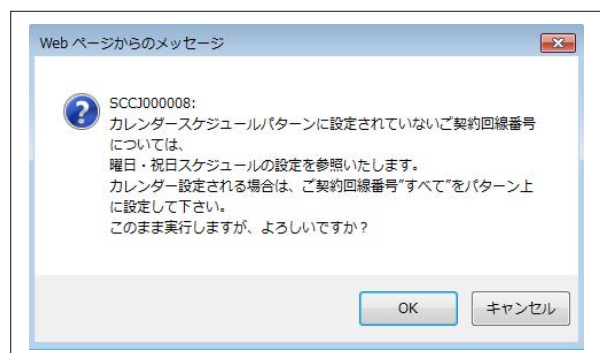
時間帯パターン 01	時間帯パターン 02	時間帯パターン 03
[03XXXXXXXX1] 00:00 09:00 18:00 24:00 2回線 10回線 2回線 [03XXXXXXXX2] 00:00 24:00 設定なし [03XXXXXXXX3] 00:00 24:00 設定なし	[03XXXXXXXX1] 00:00 10:00 15:00 24:00 0回線 5回線 0回線 [03XXXXXXXX2] 00:00 10:00 15:00 24:00 0回線 7回線 0回線 [03XXXXXXXX3] 00:00 24:00 設定なし	[03XXXXXXXX1] 00:00 24:00 15回線 [03XXXXXXXX2] 00:00 24:00 10回線 [03XXXXXXXX3] 00:00 24:00 5回線

実際の
同時接続可能数は

[03XXXXXXXX1] 00:00 09:00 18:00 24:00 2回線 10回線 2回線	カレンダースケジュールが優先して、機能します。
[03XXXXXXXX2] 00:00 10:00 15:00 24:00 0回線 7回線 0回線	カレンダースケジュールには設定がないので、 祝日スケジュールが機能します。
[03XXXXXXXX3] 00:00 24:00 5回線	カレンダースケジュールおよび祝日スケジュールに は設定がないので、曜日スケジュールが機能します。

着信番号によって機能するスケジュールが異ならないように時間帯パターンには全ての着信番号を設定してください。

参考 スケジュールを設定・変更しようとした場合、次のメッセージが表示されます。



**ご注意ください。必ずお読みください。****同時接続可能数を「0」にした場合**

同時接続可能数を「0」にした場合は、発信者は話し中となります。(FD/ND話中)

〈話中時迂回を設定している場合〉

迂回元の同時接続可能数が「0」の場合は、話中時迂回が機能します。迂回先の同時接続可能数が「0」の場合は接続せず、次の迂回先へ迂回します。

〈話中時ガイダンスを設定している場合〉

話中時ガイダンスが流れます。

〈話中時待ち合わせを設定している場合〉

話中時待ち合わせが機能し、待ち合わせ時間超過後、切断されます。同時接続可能数を「0」にする場合は、「2.1.待ち合せ設定」および「2.2.リアルタイム待ち合せ数設定」で話中時待ち合わせの設定を解除してください。

接続先案内ガイダンスをご利用のお客さまへ

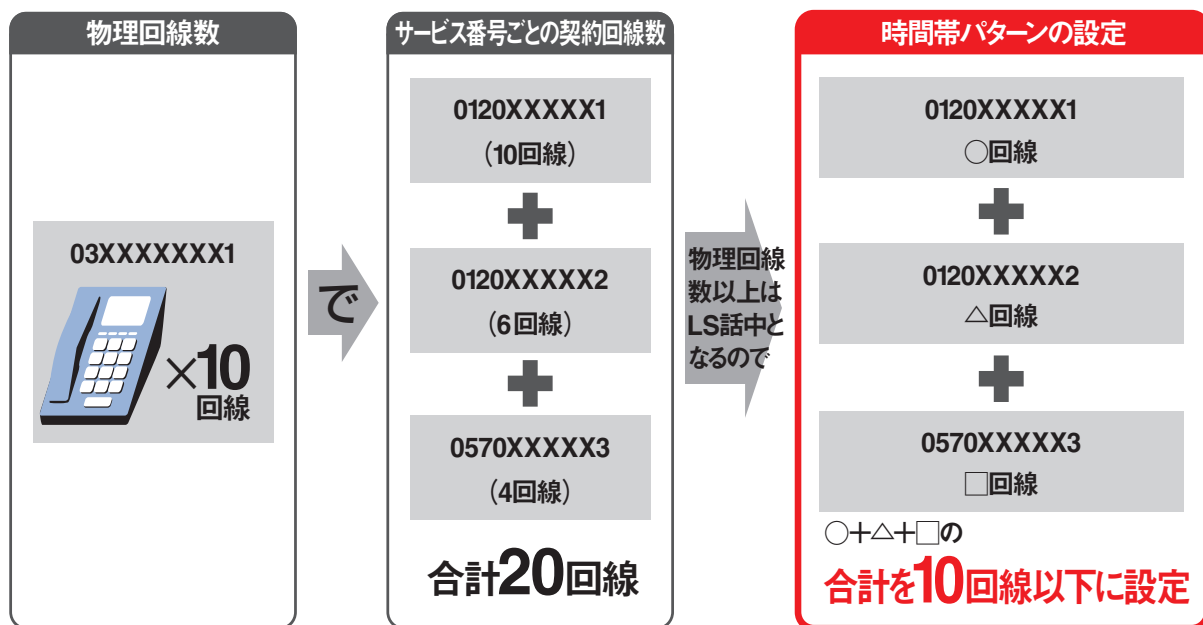
同時接続可能数を「0」にすると、接続先案内ガイダンスは流れず、話し中になります。

1つの着信番号に複数のサービス番号を契約しているお客さまへ

「2.回線数変更設定」はサービス番号ごとの設定となります。1つの着信番号に複数のサービス番号を契約している場合はサービス番号ごとに「2.回線数変更設定」を設定してください。

〈契約回線数の合計が物理回線数より多い場合〉

「2.回線数変更設定」の時間帯パターンでの同時接続可能数が常に物理回線数以下になるように設定してください。物理回線数を越える着信はLS話中となります。



回線数変更設定とリアルタイム回線数設定を同時に設定した場合

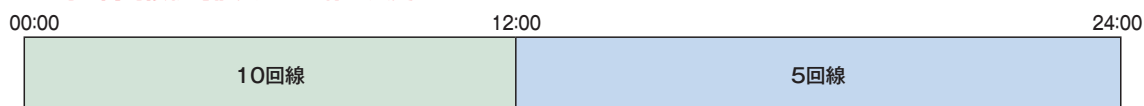
「2.回線数変更設定」と「3.リアルタイム回線数設定」を同時に設定した場合、同時接続可能数の少ないほうが機能します。

●「2.回線数変更設定」の設定



●「3.リアルタイム回線数設定」の設定

12時に同時接続可能数を5回線に変更



実際の
同時接続可能数は

●実際の同時接続可能数



同時接続可能数の少ないほうが優先されるため、リアルタイム回線数での設定は13:00~18:00しか機能しません。

2-1 時間帯パターンを変更・廃止する

◆次の変更例で、時間帯パターンを変更・廃止する方法について説明します。

変更例

サービス番号「0120XXXXXX」

時間帯パターン(パターンID:01、パターン名:平日用)の設定内容を次のように変更・廃止します。

着信番号「03XXXXXXX1」を変更、着信番号「06XXXXXXX1」を追加します。

着信番号「03XXXXXXX1」の設定

00:00	09:00	18:00	24:00
0回線	10回線	0回線	



00:00	09:00	20:00	24:00
0回線	20回線	0回線	

着信番号「06XXXXXXX1」の設定

00:00	24:00
設定なし	



00:00	09:00	20:00	24:00
0回線	5回線	0回線	

画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01. 運用状況

02. スケジュール変更

04. 回線数変更スケジュール変更

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール> ※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<カレンダースケジュール> ※回線数スケジュールにてカレンダースケジュールを設定する場合は、ご契約回線番号すべてを設定してください。 保存

2016年1月
2016年2月
2016年3月
2016年4月
2016年5月
2016年6月
2016年7月
2016年8月
2016年9月
2016年10月
2016年11月
2016年12月
2017年1月

<期間設定> (yyyy/mm/dd) ~ (yyyy/mm/dd) 回線数変更パターンID 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

順番	パターンID	パターン名	パターン変更	着信番号追加
1	01	平日用	パターン変更	着信番号追加
2	02	休日用	パターン変更	着信番号追加

時間帯パターンを変更する場合

1

該当の「パターン変更」ボタンをクリックします。

→ 選択した時間帯パターンの設定情報が表示されます。

2

<時間帯パターン情報>に必要な項目を入力します。(画面A)

● 時間帯2の「終了時間」に「1959」と入力します。

「同時接続可能数」に「20」と入力します。

● 時間帯3の「開始時間」に「2000」と入力します。

3

「保存」ボタンをクリックします。(画面B)

→ 「正常に終了しました。」メッセージが表示され、時間帯パターンが更新されます。

参考 時間帯の区切りは全ての着信番号で共通になります。着信番号によって時間帯を個別に設定することはできません。

参考 着信番号を削除する場合は、「削除」チェックボックスにチェックをつけ、「保存」ボタンをクリックします。

参考 設定項目の詳細については、P51「補足」を参照してください。

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<時間帯パターン情報> 回線数変更パターンID : 01 回線数変更パターン名 : 平日用

項目	着信番号	時間帯1	時間帯2	時間帯3	時間帯4	時間帯5	時間帯6	時間帯7
1	03XXXXXXX1	0000 ~ 0859	0900 ~ 1959	2000 ~ 2359	~	~	~	~
2	06XXXXXXX1	0000 ~ 0859	0900 ~ 1959	2000 ~ 2359	~	~	~	~

便利な
使い方

● 「カスコン業務メニュー」02. サービス設定 → 「02. 基本設定 (変更)」02. 着信番号設定変更で着信番号の備考欄を設定すると着信番号下に備考欄の内容が表示されます。(画面C)

着信番号を追加する場合

4

該当の「着信番号追加」ボタンをクリックします。

→ 選択した時間帯パターンの設定情報が表示されます。

5

「検索」ボタンをクリックします。

→ 画面下に着信番号が表示されます。

参考 すでに時間帯パターン内に設定している着信番号は表示されません。

6

着信番号「06XXXXXXXX1」に必要な項目を入力します。(画面A)

- 時間帯1の「同時接続可能数」に「0」と入力します。
- 時間帯2の「同時接続可能数」に「5」と入力します。
- 時間帯3の「同時接続可能数」に「0」と入力します。

7

「保存」ボタンをクリックします。(画面B)

→ 「正常に終了しました。」メッセージが表示され、時間帯パターンが更新されます。

参考 50件以上の場合は、「次検索」ボタンをクリックしてください。

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
祝日 [02] 月曜 [01] 火曜 [01] 水曜 [01] 木曜 [01] 金曜 [01] 土曜 [02]

<カレンダースケジュール> ※回線数スケジュールにてカレンダースケジュールを設定する場合は、ご契約回線番号すべてを設定してください。
※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年1月
2016年2月
2016年3月
2016年4月
2016年5月
2016年6月
2016年7月
2016年8月
2016年9月
2016年10月
2016年11月
2016年12月
2017年1月

<期間設定>
(yyyy/mm/dd) ~ (yyyy/mm/dd) (回線数変更パターンID) 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

項番	パターンID	パターン名	パターン変更	着信番号追加
1	01	平日用	パターン変更	着信番号追加
2	02	休日用	パターン変更	着信番号追加

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社
頭だし着信番号 : 検索 次検索

<時間帯パターン情報>
回線数変更パターンID : 01 回線数変更パターン名 : 平日用

項番	削除	着信番号	契約回線数	時間帯1 0000 ~ 0859	時間帯2 0900 ~ 1959	時間帯3 2000 ~ 2359	時間帯4	時間帯5	時間帯6	時間帯7
				時間帯11	時間帯12	時間帯13	時間帯14	時間帯15	時間帯16	時間帯17
1		06XXXXXXXX1 大阪コールセンター	50	0	5	0				
2		05XXXXXXXX1 名古屋コールセンター	50							

便利な
使い方

- 「頭だし着信番号」に半角9～11桁を入力すると、該当の着信番号以降を表示します。

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社
頭だし着信番号 : 検索 次検索

<時間帯パターン情報>
回線数変更パターンID : 01 回線数変更パターン名 : 平日用

項番	削除	着信番号	契約回線数	時間帯1 0000 ~ 0859	時間帯2 0900 ~ 1959	時間帯3 2000 ~ 2359	時間帯4	時間帯5	時間帯6	時間帯7
				時間帯11	時間帯12	時間帯13	時間帯14	時間帯15	時間帯16	時間帯17
1		06XXXXXXXX1 大阪コールセンター	50	0	5	0				
2		05XXXXXXXX1 名古屋コールセンター	50							



ご注意 必ずお読みください。

- 時間帯パターンを有効にするには、スケジュールに設定する必要があります。スケジュールの変更については、P52を参照してください。
- 時間帯パターンに設定されていない時間帯は、ご契約時の同時接続可能数が機能します。ただし、「3.リアルタイム回線数設定」がある場合、「3.リアルタイム回線数設定」の設定が機能します。
- 時間帯パターンには、1日の全て(24時間)の時間帯を設定してください。詳細はP42を参照してください。
- 時間帯パターンには、サービス番号に契約している全ての着信番号を設定してください。詳細はP43を参照してください。
- 「開始時間」、「終了時間」は1分単位で設定できます。「終了時間」は、設定したい時間の1分前を設定します。例えば、正午～午後1時まで設定したい場合は、「開始時間」に「1200」、「終了時間」に「1259」と設定します。

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは連年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
祝日: [] 日曜: [] 月曜: [] 火曜: [] 水曜: [] 木曜: [] 金曜: [] 土曜: []

<カレンダースケジュール> ※回線数スケジュールにてカレンダースケジュールを設定する場合は、ご契約回線番号すべてを設定してください。
※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年1月
2016年2月
2016年3月
2016年4月
2016年5月
2016年6月
2016年7月
2016年8月
2016年9月
2016年10月
2016年11月
2016年12月
2017年1月

<期間設定>
(yyyy/mm/dd)~(yyyy/mm/dd) (回線数変更パターンID) 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

順番	パターンID	パターン名	パターン変更	着信番号追加
1	01	平日用	パターン変更	着信番号追加
2	02	休日用	パターン変更	着信番号追加

時間帯パターンを廃止する場合

8

該当の「パターン変更」ボタンをクリックします。

→ 選択した時間帯パターンの設定情報が表示されます。

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<時間帯パターン情報> 廃止

回線数変更パターンID : 01 回線数変更パターン名 : 平日用

着信番号	時間帯1	時間帯2	時間帯3	時間帯4	時間帯5	時間帯6	時間帯7	時間帯8	時間帯9	時間帯10
0300000001	0000 ~ 0859	0900 ~ 1959	2000 ~ 2359	~	~	~	~	~	~	~
0600000001	0000 ~ 0859	0900 ~ 1959	2000 ~ 2359	~	~	~	~	~	~	~

9

「廃止」チェックボックスにチェックをつけます。(画面A)

10

「保存」ボタンをクリックします。(画面B)

→ 「正常に終了しました。」メッセージが表示され、時間帯パターンが廃止されます。

参考 スケジュールに設定されている時間帯パターンを廃止することはできません。スケジュールの変更については、P52を参照してください。

！**ご注意** 必ずお読みください。

- 時間帯パターンを有効にするには、スケジュールに設定する必要があります。スケジュールの変更については、P52を参照してください。
- 時間帯パターンに設定されていない時間帯は、ご契約時の同時接続可能数が機能します。ただし、「3.リアルタイム回線数設定」がある場合、「3.リアルタイム回線数設定」の設定が機能します。
- 時間帯パターンには、1日の全て(24時間)の時間帯を設定してください。詳細はP42を参照してください。
- 時間帯パターンには、サービス番号に契約している全ての着信番号を設定してください。詳細はP43を参照してください。
- 「開始時間」、「終了時間」は1分単位で設定できます。「終了時間」は、設定したい時間の1分前を設定します。例えば、正午～午後1時まで設定したい場合は、「開始時間」に「1200」、「終了時間」に「1259」と設定します。

2-2 時間帯パターンを照会する

◆次の照会例で、時間帯パターンの設定内容を照会する方法について説明します。

照会例

サービス番号「0120XXXXXX」

時間帯パターン(パターンID:01、パターン名:平日用)の設定内容を照会します。

着信番号「03XXXXXXXX1」の設定

00:00 09:00 20:00 24:00

0回線	20回線	0回線
-----	------	-----

着信番号「03XXXXXXXX2」の設定

00:00 09:00 20:00 24:00

0回線	5回線	0回線
-----	-----	-----

画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01. 運用状況

01. スケジュール照会

04. 回線数変更スケジュール照会

回線数変更スケジュール情報照会業務

サービス番号		: 0120XXXXXX		保存		閉じる																																		
契約者名		: NTTコミュニケーションズ株式会社																																						
<時間帯パターン情報> 回線数変更パターンID : 01 回線数変更パターン名 : 平日用 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 番</th> <th>削 除</th> <th>着信番号</th> <th>契約 回線数</th> <th>時間帯1 0000 ~ 0859</th> <th>時間帯2 0900 ~ 1959</th> <th>時間帯3 2000 ~ 2359</th> <th>時間帯4 時間帯14</th> <th>時間帯5 時間帯15</th> <th>時間帯6 時間帯16</th> <th>時間帯7 時間帯17</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>☐</td> <td>03XXXXXXXX1 東京コールセンター</td> <td>50</td> <td>20</td> <td>50</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>☐</td> <td>06XXXXXXXX1 大阪コールセンター</td> <td>50</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								項 番	削 除	着信番号	契約 回線数	時間帯1 0000 ~ 0859	時間帯2 0900 ~ 1959	時間帯3 2000 ~ 2359	時間帯4 時間帯14	時間帯5 時間帯15	時間帯6 時間帯16	時間帯7 時間帯17	1	☐	03XXXXXXXX1 東京コールセンター	50	20	50	20					2	☐	06XXXXXXXX1 大阪コールセンター	50	0	5	0				
項 番	削 除	着信番号	契約 回線数	時間帯1 0000 ~ 0859	時間帯2 0900 ~ 1959	時間帯3 2000 ~ 2359	時間帯4 時間帯14	時間帯5 時間帯15	時間帯6 時間帯16	時間帯7 時間帯17																														
1	☐	03XXXXXXXX1 東京コールセンター	50	20	50	20																																		
2	☐	06XXXXXXXX1 大阪コールセンター	50	0	5	0																																		

手順①はP46の『時間帯パターンを変更・廃止する』を参照してください。

②

必要な項目を確認します。

！ ご注意 必ずお読みください。

- 時間帯パターンに設定されていない時間帯は、ご契約時の同時接続可能数が機能します。ただし、「3.リアルタイム回線数設定」がある場合、「3.リアルタイム回線数設定」の設定が機能します。

2-3 時間帯パターンを作成する

◆次の作成例で、時間帯パターンを作成する方法について説明します。

作成例

サービス番号「0120XXXXXX」

時間帯パターン（パターンID:02、パターン名:休日用）を作成し、次のように時間帯パターンを設定します。

着信番号「03XXXXXXXX1」の設定

00:00	09:00	18:00	24:00
0回線	10回線	0回線	

画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01. 運用状況

02. スケジュール変更変更

04. 回線数変更スケジュール変更

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>
祝日 日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜

<カレンダースケジュール> ※回線数スケジュールにてカレンダースケジュールを設定する場合は、ご契約回線番号すべてを設定してください。
※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年1月
2016年2月
2016年3月
2016年4月
2016年5月
2016年6月
2016年7月
2016年8月
2016年9月
2016年10月
2016年11月
2016年12月
2017年1月

<期間設定>
(yyyy/mm/dd)~(yyyy/mm/dd) (回線数変更パターンID) 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

項番	パターンID	パターン名	パターン変更	着信番号追加
1	01	平日用	パターン変更	着信番号追加

1

「新規作成」ボタンをクリックします。

→時間帯パターンの設定項目が表示されます。

2

<時間帯パターン情報>に必要な項目を入力します。(画面A)

- 「回線数変更パターンID」に「02」と入力します。
- 「回線数変更パターン名」に「休日用」と入力します。
- 項番1の「開始時間」に「0000」、「終了時間」に「0859」と入力します。
- 項番2の「開始時間」に「0900」、「終了時間」に「1759」と入力します。
- 項番3の「開始時間」に「1800」、「終了時間」に「2359」と入力します。

3

「保存」ボタンをクリックします。(画面B)

→「正常に終了しました。」メッセージが表示されます。

4

「一覧照会」ボタンをクリックします。(画面C)

5

作成した時間帯パターンの「着信番号追加」ボタンをクリックします。

→選択した時間帯パターンの設定項目が表示されます。

<時間帯パターン情報> A

回線数変更パターンID : 02
回線数変更パターン名 : 休日用

保存 一覧照会 B C

項番	開始時間	終了時間	項番	開始時間	終了時間
1	0000	0859	2	0900	1759
3	1800	2359			
5			6		
7			8		
9			10		
11			12		
13			14		
15			16		
17			18		
19			20		

<時間帯パターン情報> 新規作成

項番	パターンID	パターン名	パターン変更	着信番号追加
1	01	平日用	パターン変更	着信番号追加
2	02	休日用	パターン変更	着信番号追加

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社
頭だし着信番号 : 検索 次検索

ヘルプ

<時間帯パターン情報>
回線数変更パターンID : 02 回線数変更パターン名 : 休日用

項 番	削 除	着信番号	契約 回線数	時間帯1 0000 ~ 0859	時間帯2 0900 ~ 1759	時間帯3 1800 ~ 2359	時間帯4	時間帯5	時間帯6	時間帯7	時間帯8	時間帯9	時間帯10
				時間帯11	時間帯12	時間帯13	時間帯14	時間帯15	時間帯16	時間帯17	時間帯18	時間帯19	時間帯20

便利な 使い方

- 「頭だし着信番号」に半角9～11桁を入力すると、該当の着信番号以降を表示します。

6

「検索」ボタンをクリックします。

→画面下に着信番号が表示されます。

回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社
頭だし着信番号 : B 保存 閉じる 検索 次検索

ヘルプ

<時間帯パターン情報>
回線数変更パターンID : 02 回線数変更パターン名 : 休日用

項 番	削 除	着信番号	契約 回線数	時間帯1 0000 ~ 0859	時間帯2 0900 ~ 1759	時間帯3 1800 ~ 2359	時間帯4	時間帯5	時間帯6	時間帯7
1	☐	03XXXXXXXX1 東京コールセンター	50	0	10	0				
2	☐	06XXXXXXXX1 大阪コールセンター	50							
3	☐	05XXXXXXXX1 名古屋コールセンター	50							

7

着信番号「03XXXXXXXX1」に必要な項目を入力します。(画面A)

- 時間帯1の「同時接続可能数」に「0」と入力します。
- 時間帯2の「同時接続可能数」に「10」と入力します。
- 時間帯3の「同時接続可能数」に「0」と入力します。

8

「保存」ボタンをクリックします。(画面B)

→「正常に終了しました。」メッセージが表示され、時間帯パターンが作成されます。

参考 50件以上の場合は、「次検索」ボタンをクリックしてください。



【注意】必ずお読みください。

- 時間帯パターンを有効にするには、スケジュールに設定する必要があります。スケジュールの変更については、P52を参照してください。
- 時間帯パターンに設定されていない時間帯は、ご契約時の同時接続可能数が機能します。ただし、「3.リアルタイム回線数設定」がある場合、「3.リアルタイム回線数設定」の設定が機能します。
- 時間帯パターンには、1日の全て(24時間)の時間帯を設定してください。詳細はP42を参照してください。
- 時間帯パターンには、サービス番号に契約している全ての着信番号を設定してください。詳細はP43を参照してください。
- 「開始時間」、「終了時間」は1分単位で設定できます。「終了時間」は、設定したい時間の1分前を設定します。例えば、正午～午後1時まで設定したい場合は、「開始時間」に「1200」、「終了時間」に「1259」と設定します。

補足

- 時間帯パターンは、100個まで作成できます。
- 時間帯パターンは、1パターンにつき20時間帯まで設定できます。
- 時間帯パターンIDには、「00」～「ZZ」の数字または英大文字を入力します。ただしすでに登録されているIDは設定できません。
- 時間帯パターン名は、全角20文字(半角40文字、ただし半角カナは設定不可)で設定します。
- 開始時間、終了時間は00:00をまたがって設定できません。
- 同時接続可能数は「0」以上、契約回線数以下の回線数で設定できます。

2-4 スケジュールを変更する

◆スケジュールの種類および優先順位は下記のとおりです。

優先順位1	カレンダースケジュール	1日ごとにスケジュールを設定できます。
優先順位2	祝日スケジュール	祝日を設定できます。年間を通して同じです。
優先順位3	曜日スケジュール	曜日ごとにスケジュールを設定できます。年間を通して同じです。

◆次の変更例で、スケジュールを変更する方法について説明します。

変更例

サービス番号「0120XXXXXX」

次のように<曜日・祝日スケジュール>と<カレンダースケジュール>に設定されている時間帯パターンを変更します。

曜日スケジュール	土曜、日曜の時間帯パターンID「01」を「02」に変更
祝日スケジュール	時間帯パターンID「02」を設定
カレンダースケジュール	2016年7月18日に時間帯パターンID「02」を設定

画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01. 運用状況



02 スケジュール変更

04. 回線数変更スケジュール情報変更



回線数変更スケジュール情報変更業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは連年の設定となります。

<曜日・祝日スケジュール> ※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。

祝日 02 日曜 02 月曜 01 火曜 01 水曜 01 木曜 01 金曜 01 土曜 02

<カレンダースケジュール> ※回線数スケジュールにカレンダースケジュールを設定する場合は、ご契約回線番号すべてを設定してください。

2016年1月 -2016年1月-

2016年1月 2016年2月 2016年3月 2016年4月 2016年5月 2016年6月 2016年7月 2016年8月 2016年9月 2016年10月 2016年11月 2016年12月 2017年1月

<時間帯パターン設定> (yyyy/mm/dd)~(yyyy/mm/dd) (回線数変更) (パターンID) 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

項番	パターンID	パターン名	パターン変更	着信番号追加
1	01	平日用	パターン変更	着信番号追加
2	02	休日用	パターン変更	着信番号追加

曜日・祝日スケジュールを変更する場合

1

<曜日・祝日スケジュール>の「土曜」と「日曜」に「02」を選択します。(画面A)

2

<曜日・祝日スケジュール>の「祝日」に「02」を選択します。(画面B)

3

「保存」ボタンをクリックします。(画面C)

→「正常に終了しました。」メッセージが表示され、<曜日・祝日スケジュール>が更新されます。

参考 <曜日・祝日スケジュール>は、年間を通して同じです。月を切り替えても変わりません。

カレンダースケジュールを変更する場合

4

「2016年7月」のボタンをクリックします。(画面A)

→2016年7月のカレンダースケジュールが表示されます。

参考 カレンダースケジュールは、当月を含め13カ月先まで設定できます。

参考 カレンダースケジュール設定のある月は、ボタンが青色で表示されます。

5

＜カレンダースケジュール＞の「18」日に「02」を選択します。(画面B)

6

「保存」ボタンをクリックします。(画面C)

→「正常に終了しました。」メッセージが表示され、＜カレンダースケジュール＞が更新されます。

便利な
使い方

- ＜カレンダースケジュール＞は、＜期間設定＞から期間を入力して設定することもできます。(画面D)
- ＜時間帯パターン情報＞の「パターン変更」ボタンをクリックすると、選択した時間帯パターンの内容を変更することもできます。時間帯パターンの変更については、P46を参照してください。
- ＜時間帯パターン情報＞の「着信番号追加」ボタンをクリックすると、着信番号を追加することもできます。着信番号の追加については、P47を参照してください。
- ＜時間帯パターン情報＞の「新規作成」ボタンをクリックすると、時間帯パターンを新規作成することもできます。時間帯パターンの作成については、P50を参照してください。

**注意** 必ずお読みください。

- ＜曜日・祝日スケジュール＞＜カレンダースケジュール＞＜期間設定＞は、それぞれ「保存」ボタンが別になります。各設定ごとの「保存」ボタンをクリックしないと設定されません。
- ＜カレンダースケジュール＞は、「保存」ボタンをクリックする前に表示月を切り替えると設定が反映されません。必ず1カ月単位で設定してください。
- 曜日スケジュール、祝日スケジュール、カレンダースケジュールが重複している場合は、1.カレンダースケジュール、2.祝日スケジュール、3.曜日スケジュールの順番で設定が優先されます。ただし、カレンダースケジュールの時間帯パターンに設定されていない着信番号は、祝日スケジュールで機能します。祝日スケジュールの時間帯パターンにも設定されていない着信番号は、曜日スケジュールで機能します。
- 祝日を設定すると、全ての祝日に反映されます。ただし、日曜日が祝日の場合、振替休日が祝日となり、日曜日は曜日スケジュールまたはカレンダースケジュールに設定されている時間帯パターンが動作します。詳細はP41「スケジュールを組み合わせる場合」を参照してください。
- 「2.回線数変更設定」と「3.リアルタイム回線数設定」を同時に設定した場合、同時接続可能数の少ないほうが機能します。
- スケジュールに設定されていない日または時間帯は、ご契約時の同時接続可能数が機能します。ただし、「3.リアルタイム回線数設定」がある場合、「3.リアルタイム回線数設定」の設定が機能します。
- 「2.回線数変更設定」はサービス番号ごとの設定となります。1つの着信番号に複数のサービス番号を契約している場合はサービス番号ごとに「2.回線数変更設定」を設定してください。

回線数変更スケジュール情報変更業務 閉じる ヘルプ

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール>

<カレンダースケジュール> ※回線数スケジュールにてカレンダースケジュールを設定する場合は、ご契約回線番号すべてを設定してください。
※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年 1月
2016年 2月
2016年 3月
2016年 4月
2016年 5月
2016年 6月
2016年 7月
2016年 8月
2016年 9月
2016年 10月
2016年 11月
2016年 12月
2017年 1月

2016年7月

						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

<期間設定>
 (yyyy/mm/dd)~(yyyy/mm/dd) (回線数変更) (パターンID) 保存

<時間帯パターン情報> 新規作成

順番	パターンID	パターン名	パターン変更	着信番号追加
1	01	平日用	パターン変更	着信番号追加
2	02	休日用	パターン変更	着信番号追加

スケジュールを解除する場合

7

<曜日・祝日スケジュール>または
<カレンダースケジュール>の該当曜
日・祝日または日に「無」を選択します。

8

各設定ごとに「保存」ボタンをクリックし
ます。

➡「正常に終了しました。」メッセージが
表示され、スケジュールが更新されま
す。

参考 <期間設定>は期間を入力し、「回
線数変更パターンID」から「削除」を選
択し、「保存」ボタンをクリックします。

！ **ご注意** 必ずお読みください。

- <曜日・祝日スケジュール><カレンダースケジュール><期間設定>は、それぞれ「保存」ボタンが別になります。各設定ごとの「保存」ボタンをクリックしないと設定されません。
- <カレンダースケジュール>は、「保存」ボタンをクリックする前に表示月を切り替えると設定が反映されません。必ず1カ月単位で設定してください。
- 曜日スケジュール、祝日スケジュール、カレンダースケジュールが重複している場合は、1.カレンダースケジュール、2.祝日スケジュール、3.曜日スケジュールの順番で設定が優先されます。ただし、カレンダースケジュールの時間帯パターンに設定されていない着信番号は、祝日スケジュールで機能します。祝日スケジュールの時間帯パターンにも設定されていない着信番号は、曜日スケジュールで機能します。
- 祝日を設定すると、全ての祝日に反映されます。ただし、日曜日が祝日の場合、振替休日が祝日となり、日曜日は曜日スケジュールまたはカレンダースケジュールに設定されている時間帯パターンが動作します。詳細はP41「スケジュールを組み合わせる場合」を参照してください。
- 「2.回線数変更設定」と「3.リアルタイム回線数設定」を同時に設定した場合、同時接続可能数の少ないほうが機能します。
- スケジュールに設定されていない日または時間帯は、ご契約時の同時接続可能数が機能します。ただし、「3.リアルタイム回線数設定」がある場合、「3.リアルタイム回線数設定」の設定が機能します。
- 「2.回線数変更設定」はサービス番号ごとの設定となります。1つの着信番号に複数のサービス番号を契約している場合はサービス番号ごとに「2.回線数変更設定」を設定してください。

2-5 スケジュールを照会する

◆ 次の照会例で、スケジュールを照会する方法について説明します。

照会例

サービス番号「0120XXXXXX」

<曜日・祝日スケジュール>と2016年7月の<カレンダースケジュール>を照会します。

画面を表示するには

カスコン業務メニュー

01. 運用状況

01. スケジュール照会

04. 回線数変更スケジュール照会

回線数変更スケジュール情報照会業務

サービス番号 : 0120XXXXXX
契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

<スケジュール情報> ※曜日と祝日のスケジュールは通年の設定となります。
※曜日と祝日のスケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

<曜日・祝日スケジュール> (画面B)
祝日 [02] 日曜 [02] 月曜 [01] 火曜 [01] 水曜 [01] 木曜 [01] 金曜 [01] 土曜 [02]

<カレンダースケジュール> ※回線数スケジュールにてカレンダースケジュールを設定する場合は、ご契約回線番号すべてを設定してください。
※カレンダースケジュールを設定する場合は右の保存ボタンを押してください。 保存

2016年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月
2017年 1月

2016年7月

3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

<時間帯パターン情報> (画面C)
時間帯パターンID 1 01 平日用
時間帯パターンID 2 02 休日用

便利な 使い方

- <時間帯パターン情報>の「パターン照会」ボタンをクリックすると、選択した時間帯パターンの設定内容が表示されます。
- <曜日・祝日スケジュール>の曜日・祝日や<カレンダースケジュール>の日をクリックすると、設定されている時間帯パターンの設定内容が表示されます。

1

<スケジュール情報>から「2016年7月」のボタンをクリックします。
(画面A)

→2016年7月のカレンダースケジュールが表示されます。

【参考】カレンダースケジュール設定のある月は、ボタンが青色で表示されます。

2

必要な項目を確認します。

<曜日スケジュール> (画面B)

曜日ごとに設定されている「時間帯パターンID」が表示されます。

<祝日スケジュール> (画面C)

祝日に設定されている「時間帯パターンID」が表示されます。

<カレンダースケジュール> (画面D)

日ごとに設定されている「時間帯パターンID」が表示されます。

【参考】<曜日・祝日スケジュール>は、年間を通して同じです。月を切り替えても変わりません。

！ ご注意 必ずお読みください。

- 曜日スケジュール、祝日スケジュール、カレンダースケジュールが重複している場合は、1.カレンダースケジュール、2.祝日スケジュール、3.曜日スケジュールの順番で設定が優先されます。ただし、カレンダースケジュールの時間帯パターンに設定されていない着信番号は、祝日スケジュールで機能します。祝日スケジュールの時間帯パターンにも設定されていない着信番号は、曜日スケジュールで機能します。
- 祝日を設定すると、全ての祝日に反映されます。ただし、日曜日が祝日の場合、振替休日が祝日となり、日曜日は曜日スケジュールまたはカレンダースケジュールに設定されている時間帯パターンが動作します。詳細はP41「スケジュールを組み合わせる場合」を参照してください。
- 「2.回線数変更設定」と「3.リアルタイム回線数設定」を同時に設定した場合、同時接続可能数の少ないほうが機能します。
- スケジュールに設定されていない日または時間帯は、ご契約時の同時接続可能数が機能します。ただし、「3.リアルタイム回線数設定」がある場合、「3.リアルタイム回線数設定」の設定が機能します。
- 「2.回線数変更設定」はサービス番号ごとの設定となります。1つの着信番号に複数のサービス番号を契約している場合はサービス番号ごとに「2.回線数変更設定」を設定してください。